

# 城陽市農地等利用最適化推進施策等 に関する意見書

城陽市農業委員会

## 城陽市農地等利用最適化推進施策等に関する意見書

城陽市におかれましては、平素より農業委員会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市の農業を取り巻く状況は、農業者の高齢化・後継者不足・耕作放棄地の増加・公共事業等に伴う農地の減少や環境の変化・有害鳥獣による農作物被害など安定した農業経営の継続が厳しいものとなっています。

また、世界的な社会情勢の変化により大きな影響を受け、燃料や化学肥料等の農業資材の価格高騰により農業経営が一層厳しいものとなっています。

しかし、そうした状況においても、農業者が次世代に繋げる安定した農業経営ができるような環境整備が必要であると考えています。

城陽市農業委員会として、農地等の利用の最適化を効率的かつ効果的に実施するために必要な施策の改善等について農業委員会法第38条第1項の規定により意見書を提出いたします。

### 記

#### 1. 営農環境の整備の支援について

本市の農業が、農業者の高齢化、後継者不足等厳しい状況にあるなか、農業者が利用しやすい農地環境整備を進めることで、耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、地域の状況に則した補助事業により、安定した農業経営ができるよう支援していただきたい。

#### 2. 農業用資材等の価格高騰対策について

昨今の燃料や化学肥料などをはじめとする農業資材の価格高騰により農業経営へ大きな影響がでているなか、市独自の農業者支援はもとより、引き続ききめ細やかな支援が受けられるよう、国、府に対しても要望していただきたい。

#### 3. 認定農業者ならびに多様な担い手への支援について

将来の地域農業の在り方となる地域計画策定には、担い手の中核となる認定農業者の役割が重要となっているが、現状の認定農業者には今以上に耕作面積を増やせるような余裕がないことから京都府やJAなどの関係機関と連携し、認定農業者を増やす取り組みを積極的に実施していただくとともに、多様な担い手確保に向けた支援と情報の発信に取り組んでいただきたい。また、担い手が農業経営を拡大するにあたり安心して設備投資を行えるような支援についても検討いただきたい。

#### 4. 水田農業への支援について

令和5年6月に策定された「城陽市の農業のあり方」の議論においても本市農地を多く占める水田への支援が必要という意見もある。また、水田の持つ多面的な機能や農地の保全の観点からも、水稻生産者への支援や、市内農業者が共同利用できるライスセンターの設置などの水田農業に対する施策についても検討していただきたい。

#### 5. 有害鳥獣による被害対策の支援について

近年、アライグマ、シカ等の生息数が急激に増加し、果樹、農産物に多くの被害を受けている。またジャンボタニシによる稲作への被害も増加している。野生鳥獣対策や補助事業を引き続き実施していただくとともに、対策情報の提供やよりきめ細やかな支援が受けられるよう国・府に対しても要望していただきたい。

#### 6. 土地利用計画並びに地域計画策定について

新名神高速道路・幹線道路周辺において農地転用が進むなか、農業者が安心して営農継続できるような土地利用計画並びに地域計画の策定を進め、優良農地の保全に努めていただきたい。また、市と農業委員会が開発等に関する情報を共有し、農業者の意見を十分に反映した最適な農地利用ができるような対応を図っていただきたい。

#### 7. 災害復旧支援について

昨今の異常気象により全国的に農業への多大な被害が発生しており、本市においても台風7号の影響による茶園の一部冠水や農作物等への被害を受け農業経営に影響を与えている。今後も予測できない災害被害における農業者の声に耳を傾け、必要な支援を講じていただきたい。

令和5年12月 8日

城陽市長 奥田 敏晴 様

城陽市農業委員会 会長 谷 則男